

Electoralates' Candidate Orientation and Relationship with Candidates in Different Kinds of Elections

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-09-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡田, 浩 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00059398

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



異なった種類の選挙における有権者の 候補者志向と候補者との接点

— 金沢市における2019年の意識調査データの分析をもとに —

岡 田 浩

1. はじめに

有権者の投票行動の研究において、候補者についての意識（候補者志向）は、政党についての意識（政党志向）や政策争点についての意識（政策争点志向）と並んで投票行動を規定する重要な要因とされてきた（今井, 2004, 86）（Campbell, Gurin, and Miller, 1954, 86）。しかし、政党志向や政策争点志向と比べて、候補者志向についての知見の蓄積は、日本でも諸外国でも進んでいないといわれる（Holian and Prysby, 2015, xvii）（平野, 2007, 104）（King, 2002, 3）（Kinder and Sears, 1985, 690）。また、これまでの候補者志向についての研究は、大統領選や国レベルの議員選の候補者志向をそれぞれ個別に分析するものがほとんどであり、国と地方の選挙の違い、あるいは執政部の長と議員の選挙の違いなど、選挙の種類による候補者志向の違いについては、Miller（1990）やHinckley, Hofstetter, and Kessel（1974）や三宅・木下・間場（1967）など一部の例外を除いては研究が行われてこなかった。

本稿は、国政選挙か地方選挙か、首長選挙か議員選挙かといった選挙の種類、及び候補者志向と密接な関係があると指摘されてきた現職・新人の別で（Miller, 1990, 533）（Hinckley et al., 1974, 138）、有権者の候補者志向はどう違うのか、また、候補者志向の違いを生み出す要因の1つとして考えられる候補者との接点の違いや、候補者志向と接点の関係について、筆者が2019年参院選終了後に金沢市で実施した意識調査¹のデータを用いて分析し、投票行動研究における候補者志向の研究に寄与することを目指す。

なお、候補者志向については、そもそも有権者は候補者をどの程度認知しているかをみる「候補者認知度」(平野, 2007, 105)や、候補者についての最低限の認知を前提として、候補者の個人的特性、政策、利益代表などについての有権者の評価をみる「候補者イメージ」(三宅, 2001, 46-47)や、候補者への好感度をみる「候補者評価」(今井, 2004, 92-93) (三宅・西澤, 1992, 72)が主に注目されてきたが、本稿では、有権者が候補者をどのように捉えているのかという候補者イメージが、候補者志向の中核を成していると考え、候補者イメージに特に焦点を当てて分析する。

2. 調査対象の選挙の概要

本稿で分析する意識調査は、2019年7月に行われた参院選(石川県選挙区)、2019年4月の統一地方選時に行われた石川県議選(金沢市選挙区)と金沢市議選、2018年11月に行われた金沢市長選を対象とするが、それぞれの選挙の概要は下記の通りである。

2-1.参院選(石川県選挙区)

2019年7月21日に投票が行われた。改選1人区である石川県選挙区では、農水省の元官僚の1期目の現職で、任期中に総務政務官も務めた自民公認・公明推薦の山田修路候補に対して、国民民主の石川県連の候補者公募に応募した元オペラ歌手で新人の田辺徹候補が、国民民主公認で社民と共産が推薦し立憲民主が支持する野党統一候補として立候補した。

1 2019年7月時点の金沢市選挙人名簿登載者379,198人から無作為に抽出(全84の投票区から無作為で抽出した14の投票区から無作為で対象者を抽出する2段階抽出)した1,500人の対象者に、2018年4月に実施した同様の無作為抽出の調査からの継続対象者1,064人を加えた計2,564人の対象者に対して8月8日に調査票を郵送し、同封した返送用封筒で無記名で返送を求める方法で回収した。9月末日到達分までを集計の対象とし、白紙を除く有効回収数は1,089、白紙を除く有効回収率は42.5%であった。

石川県選挙区の投票率は史上最低の47.0%であったが、山田候補が相対得票率67.2%にあたる28万8,040票を獲得して当選し、田辺候補は32.8%にあたる14万279票を獲得したが大差で敗れた。石川県選挙区では、前回2016年参院選でも、自民現職に対して野党は新人の統一候補を立てていたが、今回は得票数でも得票率でも前回に及ばなかった。

2-2.石川県議選（金沢市選挙区）

2019年統一地方選の前半戦の4月7日に投票が行われた（石川県知事選は統一地方選とは別日程で2018年3月に行われた）。石川県内の全14選挙区のうち、候補者数が定数を超えて選挙戦となったのは金沢市選挙区を含む7選挙区であった。

本調査の対象である金沢市選挙区では定数16に対して19人が立候補したが、その党派別内訳は、自民公認8（うち当選8）、公明公認2（うち当選2）、共産公認1（うち当選1）、社民公認1（うち当選1）、無所属7（うち当選4）であった。現職・新人別の内訳は、現職が15（うち当選14）、新人が4（うち当選2）であった。

金沢市選挙区の投票率は史上最低の38.9%であったが、地元テレビ局の元アナウンサーの無所属新人候補がトップ当選したことや、連合石川が推薦した3候補（現職2、新人1）のうち、現職1人と新人1人は当選したものの現職1人が落選したことなどが注目された。

2-3.金沢市議選

2019年統一地方選の後半戦の4月21日に投票が行われた。石川県内の全19市町のうち、統一地方選とは別日程で議員選が行われる9市町と、無投票となった2町を除く、金沢市を含む8市町で議員選が行われた。

金沢市議選では定数38に対して43人が立候補したが、その党派別の内訳は、自民公認17（うち当選17）、公明公認4（うち当選4）、共産公認4（うち当選3）、

国民民主公認 2（うち当選 1）、立憲民主公認 1（うち当選 1）、無所属 15（うち当選 12）であり、無所属のうち 2 人は社民の推薦を得ていた（うち当選 2）。現職・新人別の内訳は、現職が 32（うち当選 31）、新人・元職が 11（うち当選 7）であった。

金沢市議選の投票率は史上最低の 36.3%であったが、自民と公明で引き続き過半数を制したことや、元衆院議員で無所属新人の田中美絵子候補がトップ当選したことなどが注目された。

2-4. 金沢市長選

2018年11月11日に投開票が行われた。元金沢市議で現職として 2 期 8 年務めた無所属で自民・公明・国民民主推薦の山野之義候補に対して、共産党金沢地区委員長を務める新人の南章治候補が無所属で共産の推薦を得て立候補した。

投票率は史上最低の 24.9%であったが、山野候補が相対得票率 83.6%にあたる 7 万 6,346 票を獲得して当選し、南候補は 16.4%にあたる 1 万 4,968 票を獲得したが大差で敗れた。

3. 投票した候補者についてのイメージ（選択式設問）

この調査では、参院選については、「今回の参院選の石川県選挙区の候補者について、どのような印象を持ちましたか。それぞれの候補者について当てはまる番号をすべて選んで下さい。」と尋ね、選択肢として、「1.政策や主張がよい／2.実行力がある／3.人柄がよい／4.選挙区のためにつくしてくれる／5.自分（の家族）と同じ職業の人々の問題にとりくんでくれる／6.以上のいずれの印象もない」の 6 項目を提示して、各候補者についてのイメージを選択式（複数回答可）で尋ねる設問を設けた。

県議選・市議選・市長選についても同様に、「（県議選／市議選／市長選で投票された方のみお答えください）投票された候補者について、どのような印象を持ちましたか。当てはまる番号をすべて選んで下さい。」と尋ね、選択肢とし

て、上記の参院選についてのものと同様のものを提示して²、投票した候補者についてのイメージを選択式（複数回答可）で尋ねる設問を設けた。

「以上のいずれの印象もない」を除く5つの選択肢は、Kinder, Abelson, and Fiske (1979)の研究以来その重要性が指摘されてきた、候補者の個人的特性に関する有権者の二大評価項目の「能力＝実行力がある」及び「信頼性＝人柄がよい」に、政策についての評価に関する「政策や主張」と、利益代表や仕事についての評価に関する「選挙区（地域）のために尽力」と「職業関係で尽力」を付け加えたものである。

参院選石川県選挙区については、候補者は2人で数が限られていたことから全ての候補者のイメージについて回答を求めたが、県議選（金沢市選挙区）と金沢市議選については、前者は定数16に対して候補者19、後者は定数38に対して候補者43と、候補者数が多く、全ての候補者について回答を求めることは現実的でないことから、市長選を含む地方選挙については自分が投票した候補者に限ってそのイメージや投票理由を尋ねた。そのため、参院選と県議選・市議選・市長選の間で条件を揃えて比較するため、本稿では当該候補者に投票した回答者のみを抽出して³、候補者についてのイメージを比較する。

-
- 2 参院選の候補者についてのイメージの選択肢のうち、「選挙区のためにつくしてくれる」については、県議選・市議選・市長選の場合は「選挙区」という言い方はあまり一般的でないこと、県議・市議については選挙区全体というよりは、より狭い地域の代表という性質が強いことを考慮して、地方選挙については「地域のためにつくしてくれる」という言葉に置き換えた。
 - 3 具体的には、参院選については、参院選で投票したか否かを問う設問で「投票した」と回答し、なおかつ、どの候補者に投票したかを問う設問で、当該候補者に投票したと回答した人（山田候補430人、田辺候補242人）を分析の対象とした。県議選と市議選については、各選挙で投票したか否かを問う設問で「投票した」と回答した人（県議選703人、市議選673人）を分析の対象とした。市長選については、どの候補者に投票したかを問う設問で、当該候補者に投票したと回答した人（山野候補622人、南候補48人）を分析の対象とした。

[表1] 投票した候補者についてのイメージ（選択式）

	参院選（石川県選挙区）		統一地方選		金沢市長選	
	山田修路 （現職・与党候補）	田辺徹 （新人・野党統一候補）	石川県議選（金沢市選挙区）	金沢市議選	山野之義 （現職）	南章治 （新人・共産推薦）
政策や主張がよい	31.6%	22.7%	25.2%	24.4%	25.7%	33.3%
実行力がある	18.4%	3.3%	21.8%	23.3%	37.6%	2.1%
人柄がよい	33.3%	20.7%	33.3%	35.8%	43.7%	16.7%
選挙区（地域）のためにつくしてくれる	31.6%	6.2%	47.8%	56.2%	52.1%	20.8%
自分（の家族）と同じ職業の人々の問題にとりこんでくれる	3.3%	4.1%	5.4%	5.5%	2.1%	4.2%
以上のいずれの印象もない	34.4%	55.8%	18.5%	16.2%	12.1%	45.8%
無回答	2.8%	4.1%	9.4%	8.2%	2.9%	4.2%
投票者数	430	242	703	673	622	48

投票した候補者についてのイメージを選択式で尋ねた回答を集計した[表1]について⁴、まず、参院選の現職の山田候補と新人の田辺候補を比べると、田辺候補は山田候補よりも「以上のいずれの印象もない」が顕著に多い（+21.4ポイント）のに対して、山田候補は全体的に（よい）イメージを持たれているが、特に、現職であることから、その仕事や、人柄など候補者の中身についての情報を得やすいゆえか、田辺候補より、「選挙区のためにつくしてくれる（+25.4ポイント）」や「実行力がある（+15.1ポイント）」や「人柄がよい（+12.6ポイント）」が顕著に多くなっている。

市長選の現職の山野候補と新人の南候補を比べると、南候補は「政策や主張がよい」が7.6ポイント上回っている他は全体的に（よい）イメージの点で山野候補に及ばず「以上のいずれの印象もない」が顕著に多い（+33.7ポイント）のに対して、山野候補は全体的に（よい）イメージを持たれているが、特に、現職であることから、その仕事や、人柄など候補者の中身についての情報を得やすいゆえか、南候補より、「実行力がある（+35.5ポイント）」や「地域のためにつくしてくれる（+31.3ポイント）」や「人柄がよい（+27.0ポイント）」が顕著に多

4 各選択肢に○をした人の数を投票者数で割った比率を表示している。「無回答」については、どの選択肢にも○をしなかった人の数を投票者数で割った比率を表示している。

くなっている。

参院選と市長選については現職を基準にして選挙の種類で比べると、参院選は「政策や主張がよい」が5.9ポイント以上、上回っている他は全体的に（よい）イメージの点で県議選・市議選・市長選に及ばず「いずれの印象もない」が多い（+15.9ポイント以上）。県議選・市議選・市長選は、参院選と比べて「いずれの印象もない」が少ないが、特に「地域のためにつくしてくれる」が多くなっている（+16.2ポイント以上）。参院選よりも地方選挙の方が身近で候補者についてのイメージを持ちやすく、また、地域密着的な性質が強いことを示しているのであろうか。

県議選・市議選と市長選を比べると、議員よりも首長の方が、その仕事や、人柄など候補者の中身についての情報を得やすいゆえか、「実行力がある（+14.3ポイント以上）」と「人柄がよい（+7.9ポイント以上）」について、市長選が多くなっている。

4. 投票した候補者についてのイメージ・投票理由（自由記述式設問）

この調査では、前節で検討した候補者イメージを選択式で尋ねる設問とは別に、参院選について、「今回の参院選の石川県選挙区の候補者について、どのような印象を持ちましたか。ご自由にお書きください。」という質問文で、各候補者のイメージを自由記述式で回答する設問も設けた⁵。

県議選・市議選・市長選については、「（県議選／市議選／市長選で投票された方のみお答えください）なぜその候補者に投票したのですか、ご自由にお書きください。」という質問文で、候補者への投票理由について自由記述式で回答する設問を設けた。

これらの設問への回答で言及されている語彙を主要カテゴリーに分類して、

5 参院選、県議選、市議選、市長選のいずれについても、選択式設問で提示する候補者イメージについての選択肢の影響を回答者が受けないように、調査票では自由記述式設問の後に選択式設問を置いた。

各カテゴリーに分類された語彙への言及人数を投票者数で割った比率を示したものが、[表2]である⁶。

[表2] 投票した候補者についてのイメージ・投票理由（自由記述式）

	参院選（石川県選挙区）		統一地方選		金沢市長選	
	山田修路 （現職・ 与党候 補）	田辺徹 （新人・ 野党統一 候補）	石川県議 選（金沢 市選挙 区）	金沢市議 選	山野之義 （現職）	南章治 （新人・ 共産推 薦）
人柄	14.7%	8.3%	7.8%	7.7%	18.3%	2.1%
仕事や能力への評価・期待	15.3%	5.0%	13.2%	12.5%	28.8%	4.2%
選挙区・地域	9.1%	8.7%	14.7%	21.1%	7.2%	2.1%
職業・組合	1.2%	0.4%	2.7%	3.1%	0.5%	0.0%
政党	9.5%	9.9%	5.7%	6.5%	1.6%	6.3%
政策・主張	7.0%	5.8%	4.3%	2.8%	6.1%	18.8%
属性・経歴	8.6%	12.0%	5.0%	3.3%	2.1%	4.2%
知り合い・薦め・依頼	—	—	14.5%	16.2%	5.6%	6.3%
無回答	43.7%	44.6%	38.5%	40.3%	27.0%	29.2%
投票者数	430	242	703	673	622	48

まず、「無回答」の行に注目して回答率を比較すると⁷、参院選と比べて県議選・市議選・市長選の方が、何も記述しない無回答が少なく（参院選現職の山田候補よりも-3.4ポイント以上）、候補者について何らかの意識を持っている

- 6 まず、IBM SPSS Text Analytics for Surveys 4.0.1を用いて各回答者の自由記述から語彙を抽出した後、候補者本人の名前や、「(～)思う」「(～)ので支持」「(～)という印象」など、候補者のイメージや投票理由を把握する上で意味のない語彙を除外してから分類した。なお、各カテゴリーと無回答のパーセントの値を合計しても100%にはならないが、たとえば「地域のために尽力している」といった自由記述の回答があった場合、「選挙区・地域」と「仕事や能力への評価・期待」の双方に集計されているなど、1人の回答者が複数のカテゴリーの集計に入っている場合があることと、何らかの記述があり「無回答」ではない場合でも、これらのカテゴリーに分類され難い場合は集計に入っていないためである。
- 7 回答欄が空白であるものに加えて、イメージについては、「特になし」「知らない」「興味なし」なども無回答として集計した。同様に、投票理由についても、「特になし」「なんとなく」「忘れた」なども無回答として集計した。

人が多いことが伺える⁸。

次に、自由記述の中身を検討する。本稿では、先行研究を踏まえ⁹、自由記述で言及されている語彙を分類するカテゴリーとして、

I：候補者の個人的特性に関する、①「人柄¹⁰」、②「仕事や能力への評価・期待¹¹」、

II：候補者の利益代表に関する、③「選挙区・地域¹²」、④「職業・組合¹³」、

III：候補者の外形的特性に関する、⑤「政党¹⁴」、⑥「政策・主張¹⁵」、⑦「属性・経歴¹⁶」、

を設定した。このうち、⑤の「政党」と、⑦の「属性・経歴」は選択式設問の選択肢にはなかったが、それ以外の、①「人柄」は、選択式設問の「人柄がよい」に、②「仕事や能力への評価・期待」は、選択式設問の「実行力がある」に、③「選

8 ただし、県議選・市議選・市長選については投票理由を尋ねており、「知り合い・薦め・依頼」という回答が多かったことの影響もあると考えられる。

9 詳しくは、岡田(2019,27)を参照されたい。なお、分類カテゴリーのうち、「政策・主張」と「仕事や能力への評価・期待」については、Wattenberg (1991,162-163)の、有権者が候補者について注目する点は、候補者の「政策(候補者が何をするか、あるいは現職の場合は何をしてきたか)」と「パフォーマンス評価(候補者に期待される成果、あるいは現職の場合は実現した成果)」の2つに大別できるという指摘を参考している。また、「人柄」と「仕事や能力への評価・期待」については、三宅,他(1967)が、京都府宇治市における意識調査において、「〇〇さんは、知事/参議院議員/市長としてふさわしい人と思われますか? どのような点でそう思われますか?」と候補者イメージを尋ねた際に、人柄と仕事の両面から返答を促していたことを参考している。

10 たとえば市議選の場合、「人柄が良い」「真面目そうな感じ」などの回答があった。

11 たとえば市議選の場合、「行動力がある」「頑張ってくれそう」などの回答があった。

12 たとえば市議選の場合、「地元の人」「地域のために尽くしてくれている」などの回答があった。

13 たとえば市議選の場合、「職場で推薦」「同じ組合出身の人」などの回答があった。

14 たとえば市議選の場合、「自民党候補」「非自民」などの回答があった。

15 たとえば市議選の場合、「教育問題に取り組んでくれる」「弱者の味方になってくれる」などの回答があった。

16 たとえば市議選の場合、「若さ」「女性」などの回答があった。

挙区・地域」は、選択式設問の「選挙区(地域)に尽力」に、④「職業・組合」は、選択式設問の「職業に尽力」に、⑥「政策・主張」は、選択式設問の「政策や主張がよい」に、それぞれ対応する¹⁷。

さらに、県議選・市議選・市長選については、候補者のイメージを直接尋ねるのではなく投票理由を尋ねる設問であったため、候補者のイメージとは関係なく、「知り合いであるから」や「周囲に薦められた(依頼された)ため」などの回答も多かったため、以上の7つのカテゴリーに加えて、⑧「知り合い・薦め・依頼」というカテゴリーも設定した。

自由記述で言及されている語彙をこれらのカテゴリーに分類して集計した[表2]について、まず、参院選について、現職の山田候補と新人の田辺候補を比較すると、全体的に山田候補の方が回答が多いが、特に、「仕事や能力」(+10.3ポイント)と「人柄」(+8.3ポイント)について山田候補が多くなっている¹⁸。逆に、田辺候補が多いのは、外形的特性に関する「属性・経歴」(+3.4ポイント)や「政党」(+0.4ポイント)である。

市長選の現職の山野候補と新人の南候補を比べると、山野候補は特に「仕事や能力」(+24.6ポイント)や「人柄」(+16.2ポイント)の点で上回っている。逆に、南候補が多いのは、外形的特性に関する「政策・主張」(+12.7ポイント)や「政党」(+4.7ポイント)などである。

参院選と市長選については現職を基準にして選挙の種類で比べると、参院選の特徴として、県議選・市議選と比べて「人柄」(+6.9ポイント以上)への言及

17 ただし、たとえば選択式設問の選択肢と同様に「地域のために尽力している」といった自由記述の回答があった場合、「選挙区・地域」と「仕事や能力への評価・期待」の双方に分類しているなど、完全に対応するわけではない。

18 選択式設問においては、山田候補については「選挙区のために尽力」も多かったのに対して、自由記述式では「選挙区・地域」への言及はさほど多いわけではないが、自由記述式の場合は、単に「実績がある」等の漠然とした回答や、逆に、「(石川県沖での)北朝鮮漁船の違法操業問題に尽力」等の具体的な回答が多いことがその一因であると考えられる。

が多いことや¹⁹、県議選・市議選・市長選と比べて外形的特性に関する「属性・経歴」(+3.6ポイント以上)や「政党」(+3.0ポイント以上)への言及が多いことが挙げられる。逆に、参院選が少なく県議選・市議選に多いものとしては、「選挙区・地域」(+5.6ポイント以上)への言及が挙げられる。

県議選・市議選と市長選を比べると、県議選・市議選は、「知り合い・薦め・依頼」(+8.9ポイント以上)や「地域」(+7.5ポイント以上)などが多いのに対して、市長選は、「仕事や能力」(+15.6ポイント以上)や「人柄」(+10.5ポイント以上)などが多い。

5. 候補者との接点の違い

前節までの分析で明らかになったような、現職と新人、あるいは選挙の種類による候補者志向の違いを生み出す要因の1つに、候補者との接点の違いが考えられる。たとえば、直接、候補者と話をしたことがある回答者は、その人柄について何らかの評価を下す可能性が高いのではないだろうか。

まずは、「(参院選の石川県選挙区の／石川県議選・金沢市議選・金沢市長選で投票した)候補者と、どのような接点がありましたか。当てはまる番号をすべて選んで下さい。」という設問への回答を集計した[表3]から、現職・新人の別と選挙の種類による投票した候補者との接点の違いを検討する。

参院選現職の山田候補と新人の田辺候補を比べると、山田候補は、「集会への参加」が14.1ポイントも田辺候補を上回っているなど活発な選挙活動が展開されたことが伺えるのに対して、田辺候補は、どの接点にも「該当する」と回答しなかった「無回答」が12ポイントも上回っているなど選挙活動が低調であったことが伺える。

市長選の現職の山野候補と新人の南候補を比べると、山野候補は全体的に接点が多く、特に、「テレビで見たことがある」(+31.0ポイント)や「直接話をし

19 前節で検討した選択式では参院選は「人柄」の評価が相対的に少なかった。選択式と自由記述式で異なる分析結果となった一因としては、選択式では候補者イメージを直接尋ねているのに対して、自由記述式では県議選・市議選・市長選については投票理由を尋ねていることがあると考えられる(イメージを尋ねられた場合と異なり、投票理由として人柄を挙げる人は少ないなど)。

たことがある」(+14.5ポイント)が多くなっているのに対して、南候補は「無回答」(+29.9ポイント)が多い中、「インターネット」(+6.9ポイント)については山野候補を上回っている²⁰。

参院選と市長選については現職を基準にして選挙の種類で比べると、参院選は、県議選・市議選に対して、「テレビで見たことがある」が顕著に多くなっている(+34.3ポイント以上)。これは、県議選・市議選は候補者数が多く、報道において政治的公平性を守ることが難しいことなどから、地元テレビ局の報道では個々の候補者について詳しくは取り上げられないためとも考えられる。

県議選・市議選・市長選は、「直接話をしたことがある」が特に多く、参院選に対して13.0ポイント以上の差がついている。やはり、参院選よりも地方選挙の方が有権者にとって身近であることが伺える。

県議選・市議選と市長選を比べると、全体的に県議選・市議選の方が接点が多いが、「テレビで見たことがある」については、上述した報道の事情ゆえか、市長選が顕著に多くなっている(+18.9ポイント以上)。

[表3] 投票した候補者との接点

	参院選(石川県選挙区)		統一地方選		金沢市長選	
	山田修路 (現職・与党候補)	田辺徹 (新人・野党統一候補)	石川県議選 (金沢市選 選挙区)	金沢市議選	山野之義 (現職)	南章治 (新人・共産推薦)
直接、話をしたことがある。	9.8%	2.5%	32.1%	38.3%	22.8%	8.3%
選挙運動を手伝ったことがある。	2.8%	1.7%	8.4%	9.8%	3.1%	4.2%
自分や家族の問題で、お世話になったことがある。	1.2%	0.4%	5.5%	4.5%	2.3%	2.1%
テレビで見たことがある。	69.3%	56.6%	35.0%	29.3%	53.9%	22.9%
投票依頼の電話をもらったことがある。	21.4%	11.2%	26.6%	28.2%	13.5%	8.3%
街頭で演説しているのを見たことがある。	20.5%	24.4%	18.8%	20.4%	13.7%	16.7%
自分や家族が後援会の会員になっている。	10.7%	3.7%	18.3%	19.3%	6.3%	8.3%
郵便で、ハガキやお知らせをもらったことがある。	27.2%	14.9%	34.7%	36.4%	18.3%	12.5%
集会で、演説やあいさつをきいたことがある。	19.1%	5.0%	19.6%	20.5%	13.3%	10.4%
インターネットで、候補者のホームページやブログやSNSを見たことがある。	5.8%	5.8%	5.5%	5.9%	5.6%	12.5%
友人・知人・家族・親戚から、投票の働きかけを受けたことがある。	23.0%	12.8%	30.2%	33.0%	15.0%	16.7%
友人・知人・家族・親戚に対して、投票を働きかけたことがある。	6.5%	5.4%	10.5%	12.9%	3.4%	10.4%
無回答	14.0%	26.0%	24.5%	22.7%	24.3%	54.2%
投票者数	430	242	703	673	622	48

20 2007年参院選後に筆者が金沢市で行った同様の調査でも、小政党はマスメディアで取り上げられる機会が少ないゆえか、比例代表で共産党に投票した回答者はインターネットを「接触したメディア」として挙げる回答が多かった(岡田, 2008, 84)。

6. 候補者との接点と候補者イメージ（選択式設問）の関係

次に、該当を1、非該当を0としたダミー変数同士のピアソンの積率相関係数²¹を使って、候補者との接点と候補者イメージ（選択式設問）の関係を検討する。

[表4]以降の表の係数に付いている「**」は1%水準で統計学的に有意(両側検定)な関係が両者にあることを示し、「*」はそれよりも劣る5%水準で有意な関係があることを示している。1%、あるいは5%水準で有意であったものは網掛けで表示している。

係数に付いているプラス・マイナスからは両者の関係の方向性が分かり、プラスになっている場合は接点があるとイメージの各項目について該当するという回答が多くなり、マイナスの場合は接点があるとイメージの各項目について該当するという回答が少なくなることを意味する。プラス・マイナスを除いた係数の絶対値からは、両者の関係の強さが分かる。

[表4] 投票した候補者についてのイメージ（選択式）と接点（参院選・現職山田候補）

	直接、話をしたことがある。	選挙運動を手伝ったことがある。	自分や家族の問題でお世話になったことがある。	テレビでお話したことがある。	投票依頼の電話もらったことがある。	街頭で演説しているのを見たことがある。	自分や家族が後援会の会員になっている。	幹事で、ハガキやお知らせをももらったことがある。	集会で、演説やあいさつをきいたことがある。	インターネットで、候補者のホームページやブログやSNSを見たことがある。	友人・知人・家族・親戚から、投票の働きかけを受けたことがある。	友人・知人・家族・親戚に対し、投票を働きかけたことがある。	無回答	該当数
政策や主張がよい	.197**	.097*	.066	.225**	.206**	.200**	.185**	.146**	.205**	.087	.151**	.206**	-.202**	136
実行力がある	.289**	.375**	.117*	.120*	.163**	.236**	.186**	.128**	.244**	.087	.069	.240**	-.139**	79
人柄がよい	.250**	.120*	.016	.213**	.209**	.217**	.219**	.223**	.348**	.078	.142**	.174**	-.256**	143
選挙区のためにつけてくれる	.147**	.328**	.066	.247**	.206**	.200**	.234**	.146**	.179**	.023	.079	.125**	-.259**	136
自分（の家族）と同じ職業の人々の問題にとりこんでくれる	.204**	.128**	-.020	.094	.160**	.134**	.233**	.094	.178**	.066	.055	.164**	-.074	14
以上のいずれの印象もない	-.189**	-.093	-.033	-.293**	-.199**	-.234**	-.187**	-.212**	-.264**	-.117*	-.094	-.132**	.386**	148
無回答	-.056	-.029	-.018	-.071	-.054	-.086	-.059	-.008	-.046	-.042	-.026	-.043	.095*	12
該当数	42	12	6	298	92	88	46	117	82	25	99	28	60	

21 2列×2行の集計表のファイ係数の値と一致する。

論 説

〔表5〕 投票した候補者についてのイメージ（選択式）と接点（参院選・新人田辺候補）

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の問題で、 お世話にな ったことが ある。	テレビで見 たことがある。	投票依頼の 電話をも ったことが ある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援会の 会員になっ ている。	郵便で、ハ ガキやお知 らせをも ったことが ある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インタール ネットで、 候補者の ホームページ やブログ やSNSを見 たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚から、 投票の働き かけを受け たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚に対し て、投票を 働きかけた ことがあ る。	無回答	該当数
政策や主張がよい	-.104	-.084	-.035	-.097	-.121	-.082	-.102	-.106	-.194**	-.204**	-.117	-.133*	-.142*	55
実行力がある	-.029	-.024	-.012	-.069	-.081	-.110	-.086	-.118	-.064	-.046	-.002	-.058	-.110	8
人柄がよい	.247**	.174**	-.033	-.035	.143*	.162*	.008	.217**	.213**	.136*	.171**	.150*	-.113	50
選挙区のためにつくしてくれる	-.041	-.033	-.017	-.087	-.072	-.014	-.040	-.133*	-.099	-.010	-.055	-.091	-.113	15
自分（の家族）と同じ職業の人々の問題にとりくんでくれる	.100	.136*	-.013	-.098	-.058	-.027	-.288**	-.263**	-.239**	-.037	-.169**	.136*	-.076	10
以上のいずれの印象もない	-.179**	-.146*	-.057	-.058	-.107	-.153*	-.133*	-.142*	-.218**	-.171**	-.182**	-.231**	.130*	135
無回答	-.033	-.027	-.013	-.153*	-.008	-.118	-.041	-.087	-.047	-.051	.045	.043	.161*	10
該当数	6	4	1	137	27	95	9	36	12	14	31	13	63	

〔表6〕 投票した候補者についてのイメージ（選択式）と接点（県議選）

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の問題で、 お世話にな ったことが ある。	テレビで見 たことがある。	投票依頼の 電話をも ったことが ある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援会の 会員になっ ている。	郵便で、ハ ガキやお知 らせをも ったことが ある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インタール ネットで、 候補者の ホームページ やブログ やSNSを見 たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚から、 投票の働き かけを受け たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚に対し て、投票を 働きかけた ことがあ る。	無回答	該当数
政策や主張がよい	.141**	.203**	.074*	.166**	.163**	.250**	.182**	.128**	.200**	.146**	.119**	.271**	-.109**	177
実行力がある	.301**	.226**	.175**	.170**	.229**	.214**	.240**	.202**	.277**	.069	.119**	.302**	-.212**	153
人柄がよい	.335**	.287**	.132**	.191**	.224**	.248**	.234**	.240**	.335**	.132**	.115**	.240**	-.269**	234
地域のためにつくしてくれる	.195**	.121**	.093*	.146**	.236**	.189**	.172**	.209**	.258**	-.042	.122**	.164**	-.253**	336
自分（の家族）と同じ職業の人々の問題にとりくんでくれる	.105**	.155**	.107**	.009	.027	.062	.147**	.116**	.119**	.052	.076*	.164**	-.078*	38
以上のいずれの印象もない	-.226**	-.131**	-.115**	-.127**	-.212**	-.173**	-.160**	-.186**	-.199**	-.089*	-.089*	-.139**	-.232**	130
無回答	-.138**	-.080*	-.035	-.083*	-.105**	-.117**	-.052	-.102**	-.098**	-.057	-.084*	-.095*	.203**	66
該当数	226	59	39	246	187	132	129	244	138	99	212	74	172	

〔表7〕 投票した候補者についてのイメージ（選択式）と接点（市議選）

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の問題で、 お世話にな ったことが ある。	テレビで見 たことがある。	投票依頼の 電話をも ったことが ある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援会の 会員になっ ている。	郵便で、ハ ガキやお知 らせをも ったことが ある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インタール ネットで、 候補者の ホームページ やブログ やSNSを見 たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚から、 投票の働き かけを受け たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚に対し て、投票を 働きかけた ことがあ る。	無回答	該当数
政策や主張がよい	.101**	.185**	.079*	.167**	.159**	.263**	.126**	.103**	.183**	.121**	.110**	.194**	-.110**	164
実行力がある	.288**	.302**	.187**	.170**	.239**	.306**	.291**	.269**	.294**	.188**	.136**	.322**	-.199**	157
人柄がよい	.495**	.296**	.124**	.173**	.220**	.223**	.247**	.214**	.288**	.153**	.109**	.265**	-.294**	241
選挙区のためにつくしてくれる	.204**	.150**	-.031	.147**	.208**	.171**	.197**	.170**	.196**	.070	.142**	.153**	-.242**	378
自分（の家族）と同じ職業の人々の問題にとりくんでくれる	.105**	.096*	.074	.088*	.095*	.105**	.146**	.116**	.120**	.050	.094*	.121**	-.115**	37
以上のいずれの印象もない	-.239**	-.131**	-.098*	-.088*	-.195**	-.142**	-.174**	-.173**	-.163**	-.059	-.085*	-.145**	.204**	109
無回答	-.191**	-.080*	-.064	-.144**	-.103**	-.124**	-.118**	-.113**	-.138**	-.075	-.105**	-.099*	.269**	55
該当数	258	66	30	197	190	137	130	245	138	40	222	87	153	

異なった種類の選挙における有権者の候補者志向と候補者との接点

[表 8] 投票した候補者についてのイメージ（選択式）と接点（市長選・現職山野候補）

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の問題で、 お世話にな ったことが ある。	テレビで声 援をもら ったことが ある。	投票依頼の 電話をら ったことが ある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援者の 会員になっ ている。	郵递で、ハ がキやお知 り合わせも らったこと がある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インターネット で、候補者 のホームページ やSNSを見 たことがある。	友人・知 人・家族、 親戚から、 投票を受け 勧められた ことがある。	友人・知 人・家族、 親戚に対し 投票を受け 勧められた ことがある。	無回答	該当数
政策や主張がよい	.188**	.131**	-.010	-.102*	.133**	-.162**	.060	-.073	.169**	.128**	-.042	.094*	-.127**	160
実行力がある	.123**	.074	.039	.126**	.062	.155**	.099	-.076	.183**	.113**	.000	.094*	-.177**	234
人柄がよい	.138**	.088*	-.003	.068	.097*	.168**	.039	.135**	.159**	.024	.076	.086*	-.083*	272
地域のためにしてくれる	.108**	.095*	.015	.081*	.078	.082*	.142**	-.038	.121**	.011	.014	.072	-.080*	324
自分の(家族)と同じ職業の人々の問題にとりこんでくれる	.081*	.039	.054	-.045	.041	.073	.095	.047	.075	.159**	.033	.039	-.030	13
以上のいずれの印象もない	-.107**	-.008	-.056	-.024	-.089**	-.075	-.014	-.112**	-.029	-.048	-.003	.013	.124**	75
無回答	.020	-.031	-.026	-.110**	.044	-.069	-.045	-.007	-.068	-.042	.088*	-.032	.014	18
該当数	142	19	14	335	84	85	99	114	89	35	93	21	151	

[表 9] 投票した候補者についてのイメージ（選択式）と接点（市長選・新人南候補）

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の問題で、 お世話にな ったことが ある。	テレビで声 援をもら ったことが ある。	投票依頼の 電話をら ったことが ある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援者の 会員になっ ている。	郵递で、ハ がキやお知 り合わせも らったこと がある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インターネット で、候補者 のホームページ やSNSを見 たことがある。	友人・知 人・家族、 親戚から、 投票を受け 勧められた ことがある。	友人・知 人・家族、 親戚に対し 投票を受け 勧められた ことがある。	無回答	該当数
政策や主張がよい	.267	.074	-.103	.035	-.053	.040	.107	-.000	.193	.134	.158	.193	-.329*	10
実行力がある	-.044	-.026	-.021	-.080	.464**	-.055	-.044	-.055	-.050	-.055	-.055	-.050	-.159	1
人柄がよい	.270	.187	-.065	.022	.067	.100	.270	-.169	.213	.000	.100	.213	-.150	8
地域のためにしてくれる	.031	-.107	-.075	-.036	.031	.045	.031	-.039	-.007	-.039	-.092	-.007	.060	10
自分の(家族)と同じ職業の人々の問題にとりこんでくれる	.314*	-.043	-.030	.134	-.063	.187	.314*	-.079	.270	-.079	.187	.270	-.227	2
以上のいずれの印象もない	-.126	.017	.150	-.004	-.126	-.075	-.126	-.095	-.177	-.099	-.187	-.177	.259	22
無回答	-.063	-.043	-.030	.134	.314*	.187	.314*	.296	.270	-.079	.187	.270	-.017	2
該当数	4	2	1	11	4	8	4	6	5	6	8	5	26	

参院選新人の田辺候補と市長選新人の南候補については、ケース数がそれぞれ242、48と少ないことから統計学的に有意という結果が出難いこと、また、市長選については、選挙から半年以上経過してからの調査であることがおそろしく影響して全体的に係数値が低く有意になっているものも少ないことに注意が必要であるが、[表 4]から[表 9]までで有意な結果になり、かつ係数値が高い部分に注目すると、下記の傾向が指摘できる。

- ①「直接、話をした」は、「人柄がよい」という評価につながっている（市長選新人の南候補を除く）。
- ②「選挙運動を手伝った」は、「人柄がよい」という評価につながっている（市長選新人の南候補を除く）。
- ③「世話になった」は、参院選現職の山田候補と県議選・市議選については、

「実行力」の評価につながっている。

- ④「テレビ」は、参院選現職の山田候補については様々な点でよいイメージを持つことにつながっているが、他の選挙・候補者については他の接点と比べてイメージの向上に顕著な効果があるというわけではない。
- ⑤「街頭演説」は、様々な点でよいイメージを持つことにつながっている（市長選新人の南候補を除く）。
- ⑥「集会への参加」は、様々な点でよいイメージを持つことにつながっている（市長選新人の南候補を除く）。
- ⑦「インターネット」は、参院選新人の田辺候補について「政策や主張」などの点での評価につながっている以外は、他の接点と比べてイメージの向上に顕著な効果があるというわけではない。

7. 候補者との接点と候補者イメージ・投票理由（自由記述式設問）の関係

次に、投票した候補者との接点と、自由記述式で尋ねた候補者イメージ・投票理由の関係を、[表10]から[表15]までから検討する²²。

[表10] 投票した候補者についてのイメージ(自由記述式)と接点(参院選・現職山田候補)

	選挙、話をしたことがある。	選挙運動を手伝ったことがある。	自分や家族の問題で、お世話になったことがある。	テレビで見たことがある。	投票依頼の電話をもったことがある。	街頭で演説しているのを見たことがある。	自分や家族が後援会の会員になっている。	軽便で、ハゲやおぼろげな髪をもったことがある。	重宝で、髪やあざつづきがある。	インターネットで、候補者のホームページやブログやSNSを見たことがある。	友人・知人・家族・親戚から、投票の勧めを受けたことがある。	友人・知人・家族・親戚に対して、投票を勧めかけたことがある。	無回答	該当数
人柄	.174**	.129**	.078	.119*	.056	.116*	.133**	.042	.167**	.009	.023	.131**	-.129**	63
仕事や能力への評価・期待	.012	.045	.074	.213**	.092	.182**	.082	.059	.109*	.004	.028	.018	-.153**	66
選挙区	.060	.045	.041	.052	.033	.020	-.005	.043	.032	.095	.020	.114*	-.057	39
職業・組合	.037	-.018	-.012	-.022	.049	.053	.173**	.080	.058	-.027	.044	-.029	-.044	5
政党	-.080	-.055	-.035	-.050	.004	-.086	-.036	-.038	-.057	-.047	-.027	-.021	.075	41
政策・主張	-.064	.009	-.030	.044	.080	.178**	.023	.017	.053	.088	.089	.002	-.084	30
個性・経歴	.095*	.099*	.044	.168**	.062	.050	.108*	.111*	.062	.101*	.108*	.020	-.100*	37
無回答または非該当	-.113*	-.120*	-.044	-.155**	-.104*	-.136**	-.130**	-.063	-.145**	-.039	-.036	-.110*	-.139**	257
該当数	42	12	5	298	92	88	46	117	82	25	99	28	60	

22 表中の「無回答または非該当」は、自由記述において回答欄が空白であったり「特になし」といった回答の場合の「無回答」と、何らかの記述があり「無回答」ではないがカテゴリーに分類され難い場合の「非該当」を合わせたものである。

異なった種類の選挙における有権者の候補者志向と候補者との接点

[表11] 投票した候補者についてのイメージ(自由記述式)と接点(参院選・新人田辺候補)

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の話題で、 お世話を なったこと がある。	テレビで身 元が明らか になったこ とがある。	投票依頼の 電話をも らったこと がある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援会 の会員にな っている。	郵便で、ハ ガキやお知 らせをも らったこと がある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インター ネットや、 候補者の ホームページ やブログ やSNSを見 たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚から、 投票の働き かけを受け たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚に対し て、投票を 働きかけた ことがある。	無回答	該当数
人柄	.086	-.030	-.015	-.008	-.100	-.041	-.045	.172**	-.052	-.057	.026	-.054	-.005	20
仕事や能力への評価・期待	-.048	-.039	-.019	-.010	-.011	.004	.020	.128*	.001	.183**	.065	-.072	-.007	12
地域	.045	-.040	-.020	.122	-.016	.030	-.061	-.046	.065	-.014	.014	-.073	-.116	21
職業・組合	-.010	-.008	-.004	-.074	-.023	-.037	-.013	.150*	-.015	-.016	.168**	-.015	-.038	1
政党	.125	-.043	.194**	.123	-.030	-.037	.081	.017	.052	.155**	-.003	-.018	-.102	24
政策・主張	-.040	-.032	-.016	.133	.025	-.017	-.049	-.004	-.057	.090	.011	.019	-.026	14
個性・経歴	.105	.152*	-.024	.143*	-.090	.028	-.005	-.118	.033	.072	-.065	-.081	-.045	29
無回答または非該当	-.109	-.043	-.088	-.088	.007	-.036	-.042	-.089	-.035	-.157*	.043	-.021	.072	159
該当数	6	4	1	137	27	59	9	36	12	14	31	13	63	

[表12] 候補者への投票理由(自由記述式)と接点(県議選)

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の話題で、 お世話を なったこと がある。	テレビで身 元が明らか になったこ とがある。	投票依頼の 電話をも らったこと がある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援会 の会員にな っている。	郵便で、ハ ガキやお知 らせをも らったこと がある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インター ネットや、 候補者の ホームページ やブログ やSNSを見 たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚から、 投票の働き かけを受け たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚に対し て、投票を 働きかけた ことがある。	無回答	該当数
人柄	.185**	.179**	.139**	.131**	.124**	.158**	.177**	.132**	.189**	.045	.097**	.211**	-.117**	55
仕事や能力への評価・期待	.181**	.124**	.199**	.145**	.221**	.199**	.119**	.174**	.188**	.070	.082*	.222**	-.183**	93
地域	.137**	.063	.005	.118**	.215**	.100**	.126**	.180**	.221**	-.039	.087*	.041	-.161**	103
職業・組合	.017	.044	-.040	.008	.058	.010	.057	.044	.050	-.040	.074	.086*	-.054	19
政党	-.038	.014	.048	.000	-.037	-.039	-.037	-.090	.033	.075*	-.054	.036	.060	40
政策・主張	.020	.088*	.041	.066	.000	.079**	.082**	.009	.091*	.103**	.045	.157**	-.022	30
個性・経歴	.024	.001	.030	.051	.010	.041	-.007	.012	-.014	.030	-.022	.007	-.069	35
知り合い・親戚・依頼	.054	.078*	.006	-.006	.099**	-.064	.045	.047	-.010	-.029	.231**	-.003	-.131**	102
無回答または非該当	-.159**	-.193**	-.166**	-.098**	-.173**	-.142**	-.131**	-.128**	-.150**	-.066	-.200**	-.227**	.213**	401
該当数	226	59	39	246	187	132	129	244	138	39	212	74	172	

[表13] 候補者への投票理由(自由記述式)と接点(市議選)

	直接、話を したことが ある。	選挙運動を 手伝ったこ とがある。	自分や家族 の話題で、 お世話を なったこと がある。	テレビで身 元が明らか になったこ とがある。	投票依頼の 電話をも らったこと がある。	街頭で演説 しているの を見たこと がある。	自分や家族 が後援会 の会員にな っている。	郵便で、ハ ガキやお知 らせをも らったこと がある。	集会で、演 説やあいさ つをきいた ことがある。	インター ネットや、 候補者の ホームページ やブログ やSNSを見 たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚から、 投票の働き かけを受け たことがあ る。	友人・知 人・家族・ 親戚に対し て、投票を 働きかけた ことがある。	無回答	該当数
人柄	.161**	.129**	.126**	.144**	.128**	.102**	.098*	.163**	.142**	.186**	.034	.170**	-.130**	52
仕事や能力への評価・期待	.192**	.163**	.049	.133**	.083*	.222**	.100**	.107**	.198**	.152**	.060	.189**	-.140**	84
地域	.244**	.123**	-.006	-.005	.064	.109**	.134**	.123**	.170**	-.068	.055	.029	-.150**	142
職業・組合	.069	.084*	.003	-.003	-.077*	.058	.129**	-.060	.057	-.027	.092*	.084*	-.077**	21
政党	-.073	-.027	.030	.028	-.032	-.014	-.069	-.038	.015	-.016	-.070	.041	.057	44
政策・主張	.087*	.125**	.007	.048	-.007	.114**	.053	.039	.113**	.147**	.033	.121**	-.092*	19
個性・経歴	-.076*	-.033	.001	.102**	-.060	.073	-.048	-.087*	.010	.166**	-.058	-.021	.000	27
知り合い・親戚・依頼	.151**	.086*	.042	.110**	-.012	.102**	.162**	.016	.026	.266**	.119**	-.190**	-.190**	105
無回答または非該当	-.251**	-.190**	-.111**	-.124**	-.124**	-.175**	-.148**	-.156**	-.179**	-.159**	-.194**	-.252**	.239**	395
該当数	293	66	197	197	190	131	130	245	138	40	222	87	153	

〔表14〕 候補者への投票理由（自由記述式）と接点（市長選・現職山野候補）

	直接、話をしたことがある。	選挙運動を手伝ったことがある。	自分や家族の問題で、お話しになったことがある。	テレビで見たことがある。	投票依頼の電話をもったことがある。	街頭で演説しているのを見たことがある。	自分や家族が後援会の会員になっている。	郵便で、ハガキやお知らせをもったことがある。	集会で、演説やあいさつを聞いたことがある。	インターネットで、候補者のホームページやブログやSNSを見たことがある。	友人・知人・家族・親戚から、投票の働きかけを受けたことがある。	友人・知人・家族・親戚に対して、投票を働きかけたことがある。	無回答	該当数
人柄	.079*	-.012	-.016	.038	.044	.090*	.032	.033	.071	-.044	.081*	-.026	-.103**	114
仕事や能力への評価・期待	.027	.032	.023	.097*	-.023	.057	-.047	.057	.053	.061	-.008	-.001	-.062	179
地域	.070	-.014	-.042	.022	.017	.033	.005	.108**	.000	-.013	-.013	-.017	-.028	45
職業・組合	-.038	-.012	-.011	-.075	-.028	-.028	-.018	.027	.041	-.017	.036	-.013	.015	3
政党	-.009	-.023	-.019	.067	-.013	-.014	-.033	.006	-.013	-.031	-.054	.047	-.072	10
政策・主張	.133**	.072	.007	.048	-.003	.074	.017	-.017	.099*	.054	-.009	.027	-.082*	28
属性・経歴	.028	-.026	-.022	.000	-.025	-.058	-.038	-.040	.007	-.036	.002	-.027	.022	13
知り合い・薦め・依頼	.083*	.119**	-.037	.016	.006	.004	.023	.083*	.027	.001	.074	.032	-.057	25
無回答または非該当	-.015	-.057	.013	-.095*	-.003	-.120**	.026	-.059	.074	.008	-.027	-.073	-.123**	318
該当数	142	19	14	335	84	85	39	114	83	35	93	21	151	

〔表15〕 候補者への投票理由（自由記述式）と接点（市長選・新人南候補）

	直接、話をしたことがある。	選挙運動を手伝ったことがある。	自分や家族の問題で、お話しになったことがある。	テレビで見たことがある。	投票依頼の電話をもったことがある。	街頭で演説しているのを見たことがある。	自分や家族が後援会の会員になっている。	郵便で、ハガキやお知らせをもったことがある。	集会で、演説やあいさつを聞いたことがある。	インターネットで、候補者のホームページやブログやSNSを見たことがある。	友人・知人・家族・親戚から、投票の働きかけを受けたことがある。	友人・知人・家族・親戚に対して、投票を働きかけたことがある。	無回答	該当数
人柄	-.044	-.030	-.021	-.080	-.044	-.065	-.044	-.055	-.050	-.055	-.065	-.050	.134	1
仕事や能力への評価・期待	-.063	-.043	-.030	.134	-.063	.187	-.063	.236	-.071	.236	-.093	-.071	-.227	2
地域	-.044	-.030	-.021	-.080	-.044	-.065	-.044	-.055	-.050	-.055	-.065	-.050	.134	1
職業・組合	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0
政党	-.078	-.054	-.038	-.141	-.078	-.115	-.078	-.098	-.088	-.098	.115	-.088	.068	3
政策・主張	.485**	.167	-.070	.246	-.145	.215	.241	-.182	.360*	.141	-.072	.360*	-.201	9
属性・経歴	-.063	-.043	-.030	.134	-.063	-.093	-.063	-.079	-.071	-.079	-.093	-.071	-.017	2
知り合い・薦め・依頼	.234	.377**	.565**	.474**	.545**	.115	.234	.423**	.194	.163	.577**	.194	-.281	3
無回答または非該当	-.372**	-.258	-.180	-.471**	-.064	-.210	-.218	-.081	-.282	-.081	-.210	-.282	.281	29
該当数	4	2	1	11	4	8	4	6	5	6	8	5	26	

投票した候補者との接点と自由記述式で尋ねた候補者イメージ・投票理由の関係について、前節で検討した選択式設問と同様の結果となったものとしては、下記のものが挙げられる。

- ①「直接、話をした」は、「人柄」についてのイメージを増すことにつながっている（参院選新人の田辺候補と市長選新人の南候補を除く）。
- ②「選挙運動を手伝った」は、「人柄」についてのイメージを増すことにつながっている（参院選新人の田辺候補と市長選を除く）。
- ③「テレビ」は、参院選現職の山田候補については「仕事や能力」など様々な点でのイメージを増すことにつながっているが²³、他の選挙・候補者については、他の接点と比べてイメージを増すことに顕著な効果があるというわけではない。

- ④「街頭演説」は、様々な点でのイメージを増すことにつながっている（参院選新人の田辺候補と市長選を除く）。
 - ⑤「集会への参加」は、様々な点でのイメージを増すことにつながっている（参院選新人の田辺候補を除く）。
- 選択式と違った結果となったものとしては、下記のものが挙げられる²⁴。
- ①選択式と異なり、自由記述式では、「世話になった」は、県議選を除いて、「仕事や能力」に関するイメージを増すことにはつながっていない。
 - ②選択式と異なり、自由記述式では、「インターネット」は、参院選新人の田辺候補以外に、市議選についても様々な点でイメージを増すことにつながっている。

8. おわりに

最後に、選択式と自由記述式の設問で同様の分析結果となったものを中心に、選挙の種類や現職・新人の別による候補者志向の違いや、候補者志向の違いを生み出す要因の1つとして考えられる候補者との接点の違いや、候補者志向と接点の関係について、本稿の分析から得られた知見をまとめる。

-
- 23 山田候補はテレビの政見放送において任期中の実績をアピールしていたが、そのことが影響している可能性もある。たとえば、「テレビで演説を聞いたなら石川のためにいろいろな事をしていることが分かった。」といった回答もあった。
 - 24 選択式と自由記述式で異なる分析結果となった一因として、選択式では候補者イメージを直接尋ねているのに対して、自由記述式では県議選・市議選・市長選については投票理由を尋ねていることがあると考えられる。たとえば、自分や家族の問題でお世話になったことがあることは実行力の点での評価にはつながるが（選択式）、それを理由に投票するわけではない（自由記述式）、といったことが考えられる。また、選挙管理委員会に「ウェブサイト等のアドレス」を届け出て選挙期間中に選管Webページにアドレスが掲載されていた候補者は、石川県議選（金沢市選挙区）は17/19=89.5%であったのに対して金沢市議選は26/43=60.5%であったことから分かるように、市議選でのネット利用はそれほど一般的でない中、市議選でネットで候補者の情報を得るほど熱心な支持者は、投票理由を尋ねられた場合、積極的に記述するといったことも考えられる。

まず、参院選及び市長選の現職と新人の候補者志向の違いについては、現職の方が全体的に(よい)イメージを持たれていたことが分かった。特に、現職の場合は、その仕事や、人柄など候補者の中身についての情報を得やすいゆえか、「実行力」や「仕事や能力」や「選挙区・地域のためにつくしてくれる」や「人柄」の点で(よい)イメージを持たれていた。一方、新人は、「政党」や「政策や主張」や「属性・経歴」といった外形的な特性に関するイメージが強かった。

参院選と地方選挙の候補者志向の違いについては、地方選挙の候補者の方が何らかの(よい)イメージを持たれる傾向があり、特に、「選挙区・地域(のために尽力)」のイメージが強かった。一方、参院選は、外形的特性に関する「政策や主張」「属性・経歴」「政党」のイメージが強かった。参院選よりも地方選挙の方が身近で候補者についてのイメージを持ちやすく、また、地域密着的な性質が強いことを示しているのであろうか。

地方選挙について、県議選・市議選と市長選を比べると、議員よりも首長の方が仕事や人柄についての情報を得やすいゆえか、市長選の方が「実行力」「仕事や能力」「人柄」のイメージが強かった。

候補者との接点については、現職よりも新人の方が、どの接点についても「該当した」と回答しない「無回答」が多く、当然予想されることながら、全体的に新人の方が接点が少ないことが伺える。

選挙の種類による接点の違いについては、参院選よりも地方選挙の方が、より身近であるゆえか「直接話をした」が多いことや、報道のされ方の違いを反映してか「テレビで見た」が参院選と市長選について多くなっていることが指摘できる。

候補者との接点と候補者志向の関係については、例外も少なくないものの全体的な傾向としては、候補者と直接話をしたり選挙運動を手伝った経験がある回答者は、候補者の人柄に触れる機会を得て、「人柄」についての(よい)イメージを持つことにつながっていること、街頭演説を見たり集会に参加して候補者を目の当たりにすることも様々な点で(よい)イメージを持つことにつながっ

ていることが指摘できる。「テレビ」「インターネット」「世話になった」など、他の接点と候補者志向の関係については、選挙の種類や候補者、選択式設問か自由記述式設問か、などによって結果が異なり、明確な関係性は見いだせなかった。

以上が本稿の分析から得られた知見であるが、今後に残された課題として、下記の5点を本稿の分析の限界として指摘しておきたい。

1点目は、自由記述式設問について参院選と地方選挙で質問文が異なっていることや、選挙から調査までの経過時間が異なっているなどで、必ずしも厳密な比較となっていない点である。今後、質問文を統一するなどした上で、さらなる調査・分析を進める必要がある。

2点目は、当該候補者に投票した回答者のイメージ・投票理由のみに焦点を当てて分析している点である。別の候補者に投票した、あるいは棄権した回答者のイメージも含めて調査・分析することが今後できれば、本稿ではできなかった候補者志向と投票行動の関係の検討も可能になるであろう。

3点目は、本稿で分析に使用した変数が限られている点である。候補者志向の形成要因については、政治的会話をする人の数が多い回答者ほど候補者認知度が高い傾向があるなど(平野,2007,107-110)、候補者との接点以外にも様々な要因が指摘されているが、本稿では候補者との接点しか検討することが出来ず、また、支持する政党の候補者であるがゆえに選挙運動を手伝い、かつ、支持する政党の候補者であるがゆえに候補者に好意的なイメージを持つ、といったように、接点と候補者志向の双方に影響する政党支持などの第三の変数の影響を考慮した分析もできなかった。

4点目は、候補者との接点と候補者志向の間の因果関係の方向性についてさらなる検討が必要な点である。たとえば、選挙運動の手伝いや集会への参加などは、かなり自発性が要求されるため、手伝ったり集会に参加したがゆえに好意的なイメージを持つに至ったという因果関係とは逆に、よいイメージを持ち好感を持っているがゆえに手伝ったり集会に参加した、という逆の因果関係で

ある可能性も高いと考えられる。同じ回答者に時期を違えて複数回調査を行う「パネル調査」のデータの分析なども今後必要であろう。

5 点目は、知見の一般化可能性についてさらなる検討が必要な点である。上記の知見は、2019年の参院選・県議選・市議選及び2018年の市長選という限られた事例の分析に基づくものであり、候補者イメージや接点の違いが、真に現職・新人の別や選挙の種類を反映しているのか、それとも候補者の特質など事例に固有の要因を反映しているのかについて弁別するためには、データのさらなる蓄積が必要である。また、本稿は地域を限った調査データの分析に基づくものであり、上記の知見の一般化可能性について、全国調査や他の地域における調査のデータを用いてさらに検討を進めることが必要である。

種々の課題は残されているが、投票行動研究において、政党志向や政策争点志向と比べて知見の蓄積が遅れているといわれる候補者志向の研究に、本稿が少しでも寄与するところがあれば幸いである。

追記

最後に、お忙しい中、調査にご回答を頂いた方々に厚く御礼申し上げたい。

なお、本稿は、科学研究費補助金・基盤研究 (C) (課題番号16K03464、研究課題名「異なった種類の選挙において候補者要因が投票行動に及ぼす影響」)の成果の一部である。

参考文献 (alphabet順)

Campbell, Angus, Gerald Gurin, and Warren E. Miller. 1954. *The Voter Decides*, Row, Peterson, and Company.

Hinckley, Barbara, Richard Hofstetter, and John Kessel. 1974. "Information and the vote: A Comparative Election Study." *American Politics Quarterly*, 2, 2, 131-158.

平野浩. 2007. 『変容する日本の社会と投票行動』木鐸社.

Holian, David B. and Charles L. Prysby. 2015. *Candidate Character Traits in*

Presidential Elections, Routledge.

- 今井亮佑. 2004. 「中選挙区制再考—投票行動と候補者要因—」『日本政治研究』第1号,86-107頁.
- Kinder, Donald R., Robert P. Abelson, and Susan T. Fiske. 1979. *Developmental Research on Candidate Instrumentation : Results and Recommendations*, Report Submitted to the Institute for Social Research, University of Michigan.
- Kinder, Donald R. and David O. Sears. 1985. "Public Opinion and Political Action." In Gardner Lindzey and Elliot Aronson (eds.), *Handbook of Social Psychology*, third edition, vol.2, Random House, 659-741.
- King, Anthony. 2002. "Do Leaders' Personalities Really Matter?" In Anthony King (ed.), *Leaders' Personalities and the Outcomes of Democratic Elections*, Oxford University Press, 1-43.
- Miller, Arthur H..1990. "Public Judgements of Senate and House Candidates." *Legislative Studies Quarterly*, 15, 525-542.
- 三宅一郎・木下富雄・間場寿一. 1967. 『異なるレベルの選挙における投票行動の研究』創文社.
- 三宅一郎・西澤由隆. 1992. 「日本の投票行動モデルにおける政党評価要因」『選挙研究』7号,63-79頁.
- 三宅一郎. 2001. 『選挙制度改革と投票行動』木鐸社.
- 岡田浩. 2008. 「金沢市における「選挙に関する意識調査」報告書:選挙に関するメディア接触を中心に」『金沢法学』50巻2号,71-86頁.
- 岡田浩. 2019. 「有権者の候補者イメージ再考—金沢市における意識調査データの分析をもとに—」『選挙研究』35巻1号,19-34頁.
- Wattenberg, Martin P. 1991. *The Rise of Candidate-Centered Politics*, Harvard University Press.